

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		省電力型街路灯整備					所管	都市づくり部 土木課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	110	計画事業名	省電力型街路灯整備			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり						
		[小 柱] (1)低炭素社会づくり						[事業開始] 平成23年度
		[施策] ①都市の低炭素化の推進						[終了予定] - 年度
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	道路法・交通安全対策基本法・交通安全施設整備事業の推進に関する法律・地球温暖化対策の推進に関する法律				
	事業対象	一般区民、道路利用者						
	事業目的	明るいまち整備事業で定めた照度基準を満たしながら、光源を省電力型街路灯のLEDやセラミックメタルハライドランプに変更することで、電気使用量を抑え、温室効果ガスの排出削減を図る。						
	事業内容	省電力型街路灯整備 740基 平成28年度予定数量 747基						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	省電力型街路灯整備基数	(基)	740	457	456	816	
		成果指標	省電力型街路灯整備基数(累計)	(基)	6,260	3,584	4,040	4,856
	決算額 (単位:千円)				96,639	107,622	151,740	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,522	6,801	7,218	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			96,640	107,622	151,740	
		総経費			105,162	114,423	158,958	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			96,640	108,928	151,740	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			8,522	5,495	7,218			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	温室効果ガスの排出削減を図るため、環境に配慮した省電力型街路灯への転換を進める必要がある。					
	効率性	3	照度や街路灯の仕様を工夫し、効率的に整備を行っている。					
	手段の適切性	3	地域特性に応じた照明を設置することで、夜間の安全を確保するとともに、快適な居住環境を創出している。					
	目的達成度	4	成果指標の目標は達成されており、着実に整備を行った。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
区道における街路灯の省電力化は、環境負荷の軽減や電気料金の削減効果が高いことから、今後も事業を維持していく必要がある。					維持			